

平成27年度 事務事業マネジメントシート

事業名	新市街地地区中学校建設事業						会計 款 項 目 大 事 小 事 01 10 03 01 09 51
政 策	O3	3節 学び、受け継がれ、進展する流山（教育・文化の充実向上）	主管課	教育総務課			
施 策	3-2	個性を生かす教育環境の基盤充実	主管課長	長橋 祐之			

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	学区内の生徒	意図	新市街地地区内の生徒の増加に対応とともに、小中一貫した教育を推進する教育施策を踏まえ、小中学校併設校を建設し、教育環境の整備を図る。
事業内容		新市街地地区に小中学校併設校を建設する。 併せて地域交流センターや、防災備蓄倉庫を整備する。		
事業開始から現在までの状況変化		平成23年度に基本計画を作成、設計業務等を(独)都市再生機構に委託した。平成25年7月に(独)都市再生機構と校舎等譲渡契約を締結し、平成27年3月末に校舎の引渡しを受け開校準備を完了した。平成27年度は共用開始後の利用にあわせ不足設備・備品の整備等を行うとともに、契約に基づき譲渡代金の支払及び文科省の負担金・交付金を確保した。		

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名 称	平成25年度	平成26年度	平成27年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
	①						
	②						
	③						
	④						
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 開校後の利用にあわせ、不足設備・備品の整備等を行った。 譲渡契約に基づき、(独)都市再生機構に譲渡代金を支払うとともに、文部科学省に交付金・負担金の交付申請を行い補助金を確保した。 今後も契約に基づき譲渡代金を支払うと共に、文科省の負担金等の確保を図る。
事務事業のコスト	平成25年度	平成26年度	平成27年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)	79,728,282	354,617,008	918,238,036				
事業費（b）(円)	72,391,932	340,229,408	908,247,636				
うち一般財源	66,766,932	125,081,408	541,247,636				
職員給与費(c)(円)	7,336,350	14,387,600	9,990,400				
人役・職員(人)	1.05	1.91	1.20				
人役・再任用(人)		0.50	0.40				
人役・臨職(人)							
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト（円）（建設又は取得年度のみ記入）			3,043,518,421				
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	B 必要性は変わらない	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき			対象者の適切性 A 対象者は適切である
						コストの削減 A 削減の余地はない
総合評価	II 継 続	(事業を現状どおり継続すべき)				

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H27)の改善計画	文部科学省の負担金等について、千葉県と協議ながら確実に確保する。	③取組の課題	国の財政状況が厳しいため国庫補助金の確保が課題である。
②今年度(H27)に実施した取組	開校後の利用にあわせ、不足設備・備品の整備等を行うとともに、校舎等の譲渡代金の支払を行った。また、文部科学省の負担金等を確保した。	④今後の改善計画	国に対して国庫補助金の要望を実施する。